

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月13日

協議会名: 阿賀野市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(700)	京和荘～前山丁字路～阿賀野市役所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。高校新1年生向けに利用促進パンフレットを配布した。朝の通勤・通学時間帯において、鉄道への接続するダイヤを確保した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、0.7人で目標を達成できなかった。高校生の通学利用で卒業等により減少したことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・前山地区の高校新1年生向け市営バス通学促進パンフレットの作成・配布を行う。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・朝の通勤・通学時間帯における鉄道への接続を引き続き確保する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(702)	京和荘～前山丁字路～市野山(ウオロク脇)	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均6.7人に対し、5.8人で目標を達成できなかった。買い物利用で増加が見られたが目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:前山線(703)	ウオロク水原店～前山丁字路 ～京和荘	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均7.1人に対し、6.0人で目標を達成できなかった。通院利用者や公共施設利用者が利用頻度を抑えたことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(902)	笹神支所～熊堂、神山駅前～阿賀野市役所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均11.0人に対し、9.8人で目標を達成できなかった。買い物利用や通院利用で増加が見られたが目標達成には至らなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(903)	阿賀野市役所～神山駅前～笹神支所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 目標である1回平均4.1人に対し、4.7人で目標を達成した。買い物や通院に利用できるダイヤを確保したことが利用者の需要に合致したと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の作成・配布を行う。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(904)	神山駅前～中ノ通～阿賀野市 役所	路線別時刻表の見やすさを考 えたレイアウトに改良して作成 した。市のホームページにも時 刻表と路線図を掲載し、周知し た。自分の利用状況に合わせ たオリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。75歳以上高齢者の利用料 免除と高齢者運転免許証返納 者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均8.2人に 対し、7.0人で目標を達成で きなかつた。 通院利用者が利用頻度を 抑えたことが考えられる。	・路線別時刻表の表現方法を 工夫し、見やすさ、分かりやす さを図る。 ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・GTFSデータを整備し、モバイ ル端末等での乗換案内を可能 にするなど利用促進を図る。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。 ・マイ時刻表作成サービスの周 知や市営バスの利用方法がわ からない方のための利用案内 を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(901)	阿賀野市役所～中ノ通～笹神 支所	路線別時刻表の見やすさを考 えたレイアウトに改良して作成 した。市のホームページにも時 刻表と路線図を掲載し、周知し た。自分の利用状況に合わせ たオリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。75歳以上高齢者の利用料 免除と高齢者運転免許証返納 者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均5.7人に 対し、5.5人で目標を達成で きなかつた。 通院利用者が利用頻度を 抑えたことが考えられる。	・路線別時刻表の表現方法を 工夫し、見やすさ、分かりやす さを図る。 ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・GTFSデータを整備し、モバイ ル端末等での乗換案内を可能 にするなど利用促進を図る。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。 ・マイ時刻表作成サービスの周 知や市営バスの利用方法がわ からない方のための利用案内 を実施する。
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(907)	阿賀野市役所～熊堂、中ノ通 ～笹神支所	路線別時刻表の見やすさを考 えたレイアウトに改良して作成 した。市のホームページにも時 刻表と路線図を掲載し、周知し た。自分の利用状況に合わせ たオリジナル時刻表(マイ時刻 表)の作成サービスを実施し た。75歳以上高齢者の利用料 免除と高齢者運転免許証返納 者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	C 目標である1回平均8.3人に 対し、6.8人で目標を達成で きなかつた。 小学校の下校利用において 沿線地域の児童数が減少 したことが考えられる。	・路線別時刻表の表現方法を 工夫し、見やすさ、分かりやす さを図る。 ・市の広報紙、ホームページ等 で利用促進を図る。 ・GTFSデータを整備し、モバイ ル端末等での乗換案内を可能 にするなど利用促進を図る。 ・75歳以上高齢者や免許返納 者への支援を継続実施する。 ・マイ時刻表作成サービスの周 知や市営バスの利用方法がわ からない方のための利用案内 を実施する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線(951)	阿賀野市役所～熊堂、中ノ通、 笹神支所～阿賀野市役所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均6.5人に対し、4.7人で目標を達成できなかった。通院利用者が利用頻度を抑えたことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(02AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ 荘～安田支所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。日帰り温泉施設が休館したため、新たな取り組みはできなかったが、他の利用促進策の検討に向けて、休館後の利用状況など情報収集に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均9.6人に対し、7.8人で目標を達成できなかった。主な利用目的であった日帰り温泉施設が休館したことによるものと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> <li>・日帰り温泉施設休館後の利用者動向を精査し、新たな移動需要の発見に向けて情報収集を行って、今後の取り組みを検討する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(04AB)	安田支所～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。日帰り温泉施設が休館したため、新たな取り組みはできなかったが、他の利用促進策の検討に向けて、休館後の利用状況など情報収集に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均5.6人に対し、4.1人で目標を達成できなかった。小学校の下校利用において沿線地域の児童数が減少したことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> <li>・日帰り温泉施設休館後の利用者動向を精査し、新たな移動需要の発見に向けて情報収集を行って、今後の取り組みを検討する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(05AB)	安田公民館～宝珠温泉あかまつ荘～安田支所	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。日帰り温泉施設が休館したため、新たな取り組みはできなかったが、他の利用促進策の検討に向けて、休館後の利用状況など情報収集に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均2.0人に対し、1.2人で目標を達成できなかった。中学校の下校利用において学校の時間割(下校時刻)が合わず、別の交通手段で下校したことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> <li>・日帰り温泉施設休館後の利用者動向を精査し、新たな移動需要の発見に向けて情報収集を行って、今後の取り組みを検討する。</li> </ul>

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名:阿賀野市 運行系統名:安田地域循環線(22B)(03AB)	横町～宝珠温泉あかまつ荘～安田公民館	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。日帰り温泉施設が休館したため、新たな取り組みはできなかったが、他の利用促進策の検討に向けて、休館後の利用状況など情報収集に努めた。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	C 目標である1回平均6.7人に対し、6.5人で目標を達成できなかった。主な利用目的であった日帰り温泉施設が休館したことによるものと考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> <li>・日帰り温泉施設休館後の利用者動向を精査し、新たな移動需要の発見に向けて情報収集を行って、今後の取り組みを検討する。</li> </ul>
事業者名:阿賀野市 運行系統名:神山線全系統	車両減価償却費等国庫補助金、H27年11月、マイクロバス2台を14人乗りコンピューター2台に更新(リース)	路線別時刻表の見やすさを考えたレイアウトに改良して作成した。市のホームページにも時刻表と路線図を掲載し、周知した。自分の利用状況に合わせたオリジナル時刻表(マイ時刻表)の作成サービスを実施した。75歳以上高齢者の利用料免除と高齢者運転免許証返納者への支援を継続実施した。運行経費においては、運行維持や安全性確保の観点から削減余地を見つけることができなかった。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	B 目標である収支率0.5%以上及び1.7%以上に対し、0.7%及び1.2%となり、目標を達成できない部分があった。目標達成した1台は利用者のうち有料者の割合が上がって運賃収入が増えたためと考えられる。もう一台は利用者が横ばい状況の中で、燃料費高騰等の影響により経費を抑えることができなかったことが考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・路線別時刻表の表現方法を工夫し、見やすさ、分かりやすさを図る。</li> <li>・市の広報紙、ホームページ等で利用促進を図る。</li> <li>・GTFSデータを整備し、モバイル端末等での乗換案内を可能にするなど利用促進を図る。</li> <li>・75歳以上高齢者や免許返納者への支援を継続実施する。</li> <li>・マイ時刻表作成サービスの周知や市営バスの利用方法がわからない方のための利用案内を実施する。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月13日

協議会名:	阿賀野市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>阿賀野市内における公共交通は、市外へ通じる幹線交通である鉄道、民営路線バスを軸に、水原市街地から放射状に広がる阿賀野市営バスを運行し、公共交通網が市内全域に広がっている。</p> <p>阿賀野市で運行する市営バスは、朝夕は主に学生に利用され、日中は移動の手段を持たない高齢者を中心に、市内で唯一の総合病院である「あがの市民病院」への通院や日常の買い物、日帰り入浴施設などに利用され、生活に必要な交通となっている。また、新潟市・新発田市に通じる鉄道駅、新潟へ通じる民営路線バスの幹線交通に対する支線の役割も果たしている。</p> <p>しかしながら、平成16年度の運行開始から増加を続けていた市営バスも、平成21年度をピークに利用者が減少し、収支悪化による行政負担の増加をはじめ、運行に様々な問題が発生している。また、鉄道や民営路線バスを利用しづらい交通空白地もあり、その地域の住民は日常生活を送る上で不便を感じている状況にある。</p> <p>そのような状況の中で、阿賀野市においては、平成20年度から地域公共交通活性化・再生総合事業を活用して、阿賀野市地域公共交通総合連携計画を策定し、平成22・23年度に前山線、神山線、安田地域循環線の試験運行を実施、平成23年度から地域公共交通確保維持事業を活用して市営バスの運行を実施している。</p> <p>この市営バスの運行は、交通手段が確保されない地区において、公共交通を確保することができるとともに、地域間交通ネットワークにアクセスしているため、交通不便地区の住民が日常生活を送る上で、重要な運行となっているので、今後も同路線を確保・維持していく必要がある。</p>